



BUSINESS REPORT

第204期 中間報告書

2023年4月1日～2023年9月30日

株主の皆様へ

P.1

CLOSE-UP

P.3

連結決算の概要

P.5

会社情報

P.6



東武鉄道株式会社 (証券コード 9001)

東武グループの概況について ご説明いたします。

取締役会長

根津 嘉澄



取締役社長

都筑 豊

Q 当上半期の業績について教えてください

A 株主の皆様には、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当上半期のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけ変更や海外からの入国制限が緩和されたことにより、緩やかな回復の動きがみられました。一方、物価高騰や為替の変動、世界的な金融引締め等に伴う海外の景気が国内経済に与える影響等に注視する必要があります。

当社グループにおきましては、当期は「事業構造改革と事業推進体制の再編の着実な実行」、「事業環境の回復傾向を捉えた収益拡大」を取組

方針に掲げ、引き続き目標数値の早期達成を目指すとともに、事業環境の変化を捉え、次なる成長ステージに向けた取組みも進めてまいります。

当上半期の連結業績は、営業収益は3,085億82百万円（前年同期比8.1%増）、営業利益は390億87百万円（前年同期比62.2%増）、経常利益は382億0百万円（前年同期比65.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は263億75百万円（前年同期比102.4%増）となり、**営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益はそれぞれ過去最高を更新いたしました。**

Q 配当について教えてください

A 当社は、長期にわたる経営基盤の拡充のため、財務健全性に配慮しつつ、業績と経営環境を総合的に勘案しながら、安定的な配当を実施することを基本方針としております。

当期は、資源価格等の上昇による影響等、厳しい事業環境が継続しているものの、事業構造改革による効率的な事業運営体制の確立をはかるとともに、各事業において需要回復を積極的に取り込む施策の実施により、利益が改善したこと等を踏まえ、中間配当につきましては普通配当を前回予想の1株あたり15円から5円増配し、20円といたします。

また、本年7月15日には、株主の皆様をはじめとする関係各位のご支援を賜りながら、1990年のスペース就役から33年ぶりに当社の**新たなフラッグシップ特急となるスペース Xの運行開始**を迎えることができたことから、株主の皆様へ感謝の意を表し、中間配当につきましては5円の

記念配当をあわせて実施いたします。

さらに、通期でも利益の改善が見込まれる等、当期の業績見通しを踏まえ、**期末配当予想**につきましては前回予想の1株あたり15円から5円**増配**し、20円の普通配当に修正いたします。これにより年間配当金は、1株につき、中間配当金25円（うち普通配当20円、記念配当5円）を含め合計45円となります。

	1株あたり配当金		
	中間	期末	年間
当期	25円	20円 (予想)	45円 (予想)
前期	15円	15円	30円



SPACIA X

株主様向けイベントの報告

事業内容へのご理解を一層深めていただくため、2023年7月8日(土)、新型特急スペース X試乗会を実施し、株主様及び同業者様に参加いただきました。



受付の様子



入線時の様子

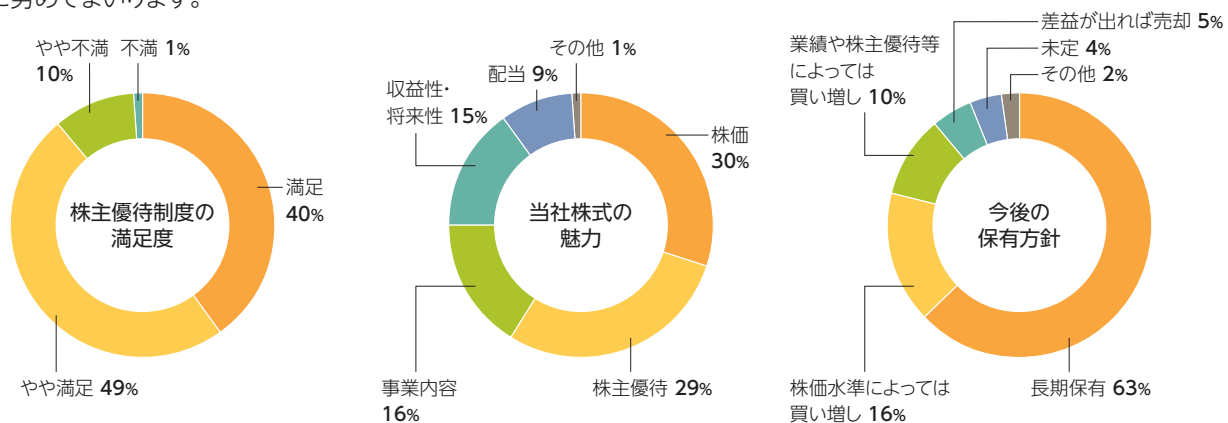


スペース X試乗中の株主様



株主様アンケート結果報告

株主様向けイベント応募の際、多くの株主様(10,239名)からアンケートに協力いただきました。誠にありがとうございます。ここでは、その一部を紹介いたします。株主様からの貴重なご意見・ご感想を活かし、今後の株主様向け施策等の更なる充実に努めてまいります。



国内外から「国際エコリゾート日光」への誘客強化

観光地としての日光エリアの魅力を高め、集客増へつなげてまいります。



観光体験の強化 新型特急スペース X

- 移動そのものを観光体験に
- 2024年春に2編成増備予定



車内カフェメニュー (イメージ)

デジタル販路の拡大 「NIKKO MaaS」のアップデート

機能充実により、デジタルへの移行をさらに加速へ

- 特急券販売の開始(2023年9月28日)
- 購買実績を基にプロモーション強化
- 新たな販路の確立を目指したインバウンド向けサイトの構築検討(2024年度目標)



公共交通へ転換し、日光エリアの渋滞緩和へ

顧客行動の可視化を通じた移動・体験両輪でのマーケティング強化

先進性・環境意識の向上

行政と連携したエリアブランディングの推進



奥日光での自動運転実証実験

- 脱炭素先行地域として公共交通への転換促進
- 日光国立公園でのバイオ燃料バス運行開始
- EVバス自動運転の実証実験

“回遊性と体験価値の向上をはかる”

東武グループの事業計画等の詳細はこちら ▶ 東武 決算説明会

検索



東武沿線のおでかけ情報ははこちら ▶ MeMOt(ミモット)

検索



2023年度第2四半期 決算のポイント

運輸事業

鉄道業におきまして、感染症法上の位置づけ変更による通勤・通学利用の回復やゴールデンウィークや夏期休暇等を中心とした行楽利用の回復により定期・定期外ともに輸送人員が増加いたしました。さらに、鉄道駅バリアフリー料金制度導入及びスペースXの運行開始により、営業収益は1,034億61百万円(前年同期比10.8%増)、営業利益は162億88百万円(前年同期比68.3%増)となりました。

レジャー事業

旅行業において自治体等の各種感染防止対策事業等の縮減により受託収入は減少したものの、教育旅行等の団体旅行を中心に旅行取扱高は回復いたしました。また、感染症法上の位置づけ変更による国内旅行需要及び入国制限解除に伴う訪日外国人旅行客の増加によるホテル業における都内ホテルを中心とした稼働率及び客室単価上昇、スカイツリー業における入場者数の回復等により、営業収益は923億80百万円(前年同期比12.5%増)、営業利益は131億95百万円(前年同期比58.6%増)となりました。

不動産事業

不動産賃貸業において獨協大学前エリアに本年3月に開業した商業施設「TOBU icourt/トープ イコート」が寄与したことに加えて、スカイツリータウン業における国内外からの観光客の回復による来場者増加により、営業収益は247億66百万円(前年同期比9.2%増)、営業利益は60億52百万円(前年同期比18.8%増)となりました。

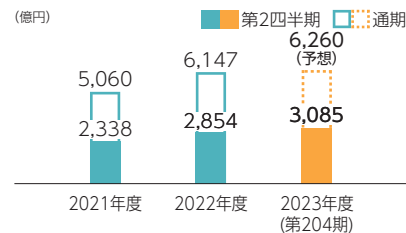
流通事業

百貨店業におきまして、外出機会の増加や脱マスク需要等により化粧品や婦人雑貨等が好調に推移いたしました。また、ストア業では、物価上昇による買い上げ点数減や閉店の影響により減収となったものの、販売価格の見直しにより利益が改善いたしました。営業収益は826億98百万円(前年同期比1.6%増)、営業利益は18億31百万円(前年同期比173.5%増)となりました。

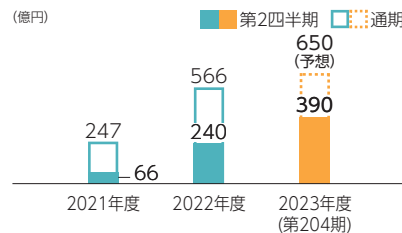
その他事業

建設業における完成工事増により増収となったことに加えて原価率が改善したことで、営業収益は383億71百万円(前年同期比4.8%増)、営業利益は23億62百万円(前年同期比325.3%増)となりました。

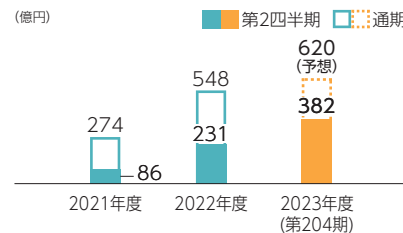
営業収益



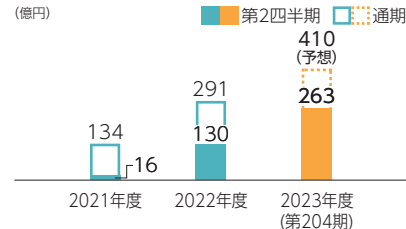
営業利益



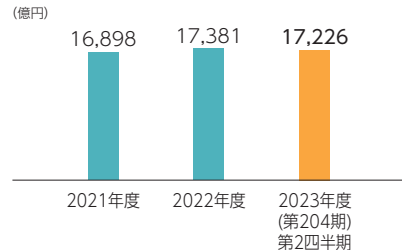
経常利益



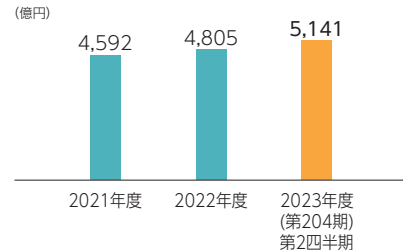
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



総資産



純資産



会社概要 (2023年9月30日現在)

商号 東武鉄道株式会社
 設立年月日 1897年11月1日
 本店所在地 東京都墨田区押上一丁目1番2号
 資本金 1,021億3,597万1,747円
 従業員数 3,323名
 発行可能株式総数 4億株
 発行済株式の総数 2億981万5,421株
 株主数 6万2,356名
 事業内容 ① 鉄道事業
 ② 不動産事業
 ③ その他の事業

役員 (2023年9月30日現在)

【取締役】
 代表取締役会長 根津 嘉澄
 代表取締役社長 都筑 豊
 取締役 横田 芳美 重田 敦史
 鈴木 孝郎 柴田 光義
 安藤 隆春 矢ヶ崎 紀子
 柳 正憲

【監査役】
 常勤監査役 杉山 知也 吉田 辰雄
 監査役 茂木 友三郎 福田 修二
 林 信秀

【執行役員】
 社長執行役員 都筑 豊
 常務執行役員 横田 芳美 山本 勉
 重田 敦史 鈴木 孝郎
 岩澤 貞裕
 執行役員 吉野 利哉 田邊 哲也
 福原 秀之 眞島 朗
 高月 京子 中山 康二
 志村 健 衣川 裕司
 伊藤 克俊 岩瀬 豊
 青柳 健司 前田 隆平

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月
 配当金受領株主確定日 期末配当金 毎年3月31日 / 中間配当金 毎年9月30日

株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社
 公告の方法 電子公告
<https://www.tobu.co.jp/koukou/>

各種手続きのお問合せ先

- 住所変更、相続
- 配当金受取方法の変更
- 単元未満株式の買取・買増請求

証券口座にて株式を管理されている株主様 ▶ お取引のある証券会社等

証券会社とのお取引がない株主様 ▶ 三井住友信託銀行(特別口座管理機関)
 TEL.0120-782-031 (フリーダイヤル)

単元未満株式(1~99株)をご所有の株主様へ

単元株式数に不足する数の当社株式を当社より市場価格で購入いただき、1単元(100株)におまとめいただける**単元未満株式買増制度**がございます。

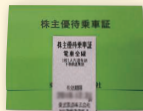
例えば、**70株**ご所有の場合



★ 当社が単元未満株式を市場価格で買い取る**単元未満株式買取制度**もございますので、ぜひご利用ください。

株主優待乗車証

株式数	種類	発行枚数	
		9月末 (基準日)	3月末 (基準日)
100株以上 200株未満	回数券 ^{※1}	—	2枚
200株以上 600株未満	回数券	2枚	2枚
600株以上 1,000株未満	回数券	6枚	6枚
1,000株以上 2,000株未満	回数券	10枚	10枚
2,000株以上 3,000株未満	回数券	20枚	20枚
3,000株以上 4,000株未満	回数券	30枚	30枚
4,000株以上 5,000株未満	回数券	40枚	40枚
5,000株以上 5,800株未満	回数券	50枚	50枚
5,800株以上 11,600株未満	定期券 ^{※2}	1枚	1枚
11,600株以上	定期券	1枚	1枚
	回数券	50枚	50枚



1,000株以上を
3年間以上
継続して保有
いただいている
株主様へ^{※3}
のご優待
(半年につき)

回数券
4枚

+

回数券
10枚

株主ご優待券



株式数	発行枚数	
	9月末 (基準日)	3月末 (基準日)
100株以上 200株未満	—	1冊
200株以上	1冊	1冊

東武グループ各施設等で利用いただけます。(一例)

割引 東京スカイツリー

発行枚数
(半年につき)



当日券
(天望デッキ、
セット券(天望デッキ・
天望回廊)の割引
3割引

▶ 5枚

割引 東武スポーツクラブ

発行枚数
(半年につき)



施設利用料
1名様1回
1,320円で
利用可能

▶ 5枚

割引 東武ストア

発行枚数
(半年につき)



お買物代金の割引
1,000円毎に
100円割引

▶ 10枚

※1 1枚1乗車有効の電車全線優待乗車証(回数券式)

※2 電車全線優待乗車証(定期券式)

※3 当社の株主名簿において、過去3年間の全ての基準日(当該基準日を含む直近7回の基準日(3月31日、9月30日))に1,000株以上の株式を継続して保有し、株主番号が継続して同一である株主様に対し、過去3年間の基準日に保有していた最小株式数に応じて追加発行いたします。

※ 株主ご優待券のご利用にあたりましては、お手元の株主ご優待券の記載事項をご確認ください。

※ 株主優待乗車証・株主ご優待券の有効期限につきましては、原則、6月発行分(資格確定3月31日)は12月末まで、12月発行分(資格確定9月30日)は翌年6月末までです。

東武鉄道株式会社

〒131-8522 東京都墨田区押上二丁目18番12号

※ 「東京スカイツリー」及び「東京スカイツリータウン」は、東武鉄道㈱及び東武タワースカイツリー㈱の登録商標です。



この印刷物は、視認性が高く読みやすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

また、FSC®森林認証紙を用いて「森林資源の保全」に、植物油インキを用いて「大気保全」に配慮しています。くわえて印刷に使用した電力(1,185kwh)は、バイオマス発電によるグリーン電力により賄うとともに、環境に配慮した資材と工場で印刷しています。なお、印刷用の紙に再生できますので、不要になった際は古紙回収・リサイクルにお出ください。